

## H 2 4 千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール競技 総評

第66回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール競技は、八千代市民体育館をメイン会場に、7月28日・29日・30日の3日間で行われた。今年度は八千代市民体育館・印西市松山下公園体育館・佐倉市民体育館の3会場とも空調設備が整っており、選手にとって日頃の練習の成果を発揮しやすい環境の中での大会となった。

男子は1回戦から2点差、3点差の試合もあり、多くの好ゲームが展開された。そんな中、ベスト4には八千代松陰中(八千代)、大和田中(八千代)、富岡中(市川・浦安)、酒井根中(柏)の各シード校が順当に勝ち進んだ。準決勝の八千代松陰中対大和田中の地元対決は、会場から多くの声援が声援を送られる中行われた。八千代松陰中はマンツーマン、大和田中はボックス・ワンでディフェンスをスタートする。互いにアウトサイドからもインサイドからもシュートを決め、一進一退の攻防が展開され前半を28対28の同点で折り返す。後半に入っても互いに体を張り合った熱いゲームが続く。第4ピリオドに入り大和田中はファウルがかさみ、2人ファウルアウトしてしまう。この機に八千代松陰中がゴール下やフリースローを決め、一步抜けだす。大和田中も最後の最後まで、逆転を狙いシュートを放つが決まらない。最終スコア71対57で、八千代松陰中が決勝進出を決めた。もう一方の富岡中対酒井根中は、互いにマンツーマンディフェンスで相手にプレッシャーをかける。富岡中は第2ピリオドに4本の3ポイントなどアウトサイドが決まりだし、得点を伸ばす。酒井根中も第3ピリオドにオールコートプレスからのアーリーオフェンスで逆転を狙う。次第に点差が詰まっていくが、富岡中もボールマンの足下にしっかり入って容易に得点を与えない。第4ピリオドになっても目が離せない試合は、小気味よくジャンプシュートを決めた富岡中が逃げ切って、72対61で決勝進出を決めた。

決勝戦は、両チームともマンツーマンでスタートする。互いに速いパス回しからカットインやアウトサイドシュートを狙う。第1ピリオドに八千代松陰中は 佐藤が速攻に絡んだり、リバウンドからのシュートなどで12得点を挙げる活躍を見せる。一方富岡中は第2ピリオドに 蕪崎が連続で3ポイントを決め、反撃の狼煙をあげる。前半終了間際にはスティールからの速攻を決め逆転し、30対29の富岡中1点リードで折り返す。後半に入り、八千代松陰中は 若狭が絶妙なパスワークを見せ、ゲームの流れを呼び戻す。富岡中も 湯浅・木下の3ポイントで必死に食い下がる。 江口も第4ピリオド残り4分でコートに戻り、全力のプレーを見せる。しかし最後まで運動量が落ちずに、コートを縦に走りきった八千代松陰中がスポットパスを絡めた速攻などで着実に加点し、71対47で2年連続の優勝を飾った。

女子のベスト4には、新人・選手権を制し総体6連覇を狙う第一シードの昭和学院中(市川・浦安)を筆頭に、シード校を次々に打ち破ってきた船橋中(船橋)・ちはら台南中(市原)・市川七中(市川・浦安)が勝ちあがってきた。昨年度の総体と同一カードとなった準決勝の昭和学院中対船橋中では、船橋中はドライブインや3ポイントなどを果敢にゴールを狙っていく。ディフェンスでも船橋中オールコートで仕掛け試合の主導権を掴もうとするが、昭和学院中は着実にシュートまでボールをつなぎ、加点する。最後まで足を動かしてしつこく食らいつく船橋中を振り切り、昭和学院中が67対40で勝利を納め、決勝に駒を進めた。そして、準決勝もう一試合のちはら台南中対市川七中は、互いにマンツーマンディフェンスでボールマンにプレッシャーをかける。ちはら台南中はインサイドの飛び込みにパス合わせたり、アウトサイドからも巧みにシュートを狙っていく。ちはら台南中はディフェンスでもアグレッシブに仕掛けていくが、市川七中の勢いは止まらず、速攻やドライブインで得点を伸ばしていく。両チームとも速い展開のバスケットで白熱した試合となったが、第3ピリオドから要所要所で着実に加点した市川七中が67対46で勝利し、決勝進出を決めた。

決勝戦は、昭和学院中がマンツーマン、市川七中がオールコート1-2-1-1からハーフコート2-1-2ディフェンスでスタート。昭和学院中はアウトサイドのパス回しから、インサイドに上手く合わせ、小島のジャンプシュートや 赤穂のターンシュートなどでゴールを決める。一方市川七中は、伊藤、黒澤、荻野らが強いステップを切りドライブを仕掛けたり、ストップジャンプシュートを決め対抗する。昭和学院中はピリオドの終わりにブザービーターを決めるなど、ゲームコントロールを意識した展開を見せ、着実にペースを掴む。市川七中は果敢に攻めるも、昭和学院中の高さの前になかなか点が動かず、じわじわと差が離れる。第4ピリオドに入っても互いにボールへのプレッシャーをかけ続け、女子決勝戦にふさわしいプレーを随所に見せ会場を沸かせた好ゲームは、75対54で昭和学院中が6年連続で女王の座に就いた。

男女ともに総体の上位2校は、8月7日から神奈川県平塚市で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場権利を得られるので、千葉県勢が関東大会でも活躍し、この枠の中に入ることを期待している。

尚、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議が行われるので、決まり次第、千葉県バスケットボール中学生連盟のホームページに掲載します。

文責 千葉県小中体連バスケットボール専門部  
副委員長 大橋 哲治(長浦中)

## 年間ランキング (H23 新人戦 ~ H24 総体)

(県総体の閉会式後に表彰がありました)

	(男子)	(女子)
第1位	八千代松陰中学校	昭和学院中学校
第2位	柏市立酒井根中学校	市川市立第七中学校
第3位	浦安市立富岡中学校	船橋市立八木が谷中学校
第4位	船橋市立葛飾中学校	船橋市立旭中学校

## H23 千葉県県選抜選手

(県総体の閉会式後に表彰がありました)

(男子)	(女子)
平良 彰吾 (船橋) 林 大真 (市川四)	小野尾梨紗 (昭和学院) 赤穂ひまわり (昭和学院)
渡邊 僚 (稲毛) 佐藤 敬太 (八千代松陰)	小島 彩 (昭和学院) 山本 由真 (九十九里)
赤川 建斗 (葛飾) 渡辺 亮生 (八千代松陰)	川島 菜月 (東金東) 伊豆山恭香 (大原)
高橋 龍人 (野田一) 白井虎太郎 (辰巳台)	丸 由梨乃 (大網) 山田 実結 (茂原東)
鴫田 智也 (君津) 石井 颯人 (有秋)	山口明日香 (船橋旭) 玉澤 朋実 (山田)
長谷川 遼 (日出学園) 邱 文昊 (習志野七)	山本 明穂 (富津) 中村 美羽 (日の出)